

(8) 伝統的工芸品産業

◆ 概要

京都の伝統産業は、京都の文化に深く根差したものであり、京都は、伝統産業を基幹産業として、「ものづくり都市・京都」にとどまらず、日本の伝統産業の拠点として発展し続けてきた。

しかしながら、生活様式の変化や海外製品の流入などにより、京都の伝統産業は、大変厳しい状況にある。

京都市では、京都の伝統産業を活性化させることにより、日本固有の文化を守り、発展させ、日本全体の伝統産業を活性化させるとともに、京都のまちを豊かな地域社会とし、京都の経済を活性化させることを目指し、平成 17 年 10 月に京都市伝統産業活性化推進条例を施行した。

平成 19 年 3 月現在で、72 品目を京都市の伝統産業に該当するものとしている。

72 品目のうち、昭和 49 年 5 月に制定された「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」により、国の指定を受けている京都市内の伝統的工芸品は 17 品目ある。全国においては、210 品目（工芸用具 1 品目、工芸材料 2 品目を含む）が伝統的工芸品として指定されている（平成 19 年 3 月現在）。

◆ 京都市の伝統産業一覧

（平成 19 年 3 月現在 72 品目）

西陣織	京の色紙短冊和本帖 しきしたんざくわほんちよう	京丸うちわ
京鹿の子絞 きよう か こしぼり	北山丸太	京弓
京友禅	京版画	京和傘
京小紋	京袋物	截金 きりかね
京くみひも	京すだれ	嵯峨面
京繡 きようぬい	京印章＜印刻＞	尺八
京黒紋付染 きようくろもんつきぞめ	工芸菓子	三味線
京房ひも・撚ひも きようふさ より	竹工芸	調べ緒
京仏壇	造園	茶筒
京仏具	清酒	提燈 ちようちん
京漆器	薫香	念珠玉
京指物 きようさしもの	伝統建築	能面
京焼・清水焼 きようやき きよみずやき	額看板	花かんざし
京扇子	菓子木型	帆布製カバン はんぶせい
京うちわ	かつら	伏見人形
京石工芸品	金網細工	邦楽器絃 ほうがつきいと
京人形	唐紙	矢
京表具	かるた	結納飾・水引工芸 ゆいのうかざり みずひきこうげい
京陶人形	きせる	和蠟燭 わろうそく
京都の金属工芸品	京瓦 きようかわら	珠数 じゆず
京象嵌 きようざうがん	京真田紐 きようさなだひも	京菓子
京刃物	京足袋	京漬物
京の神祇装束調度品 じんぎしやうぞくちやうどひん	京つげぐし	京料理
京銘竹	京葛籠 きようつづら	京こま